

2019年〇月〇日

病理解剖を用いた粥腫性脳塞栓症による脳梗塞及び血管性認知症発症機序に関する研究

病理部では、ご遺族から同意をいただきましたご家族の検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。この研究は、これまでの病理診断結果情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みにになり、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご遺族が検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用や提供をして欲しくない」と思われた場合には、ご遠慮なく国立循環器病研究センターの下記の部署（末尾に記載）にて、そのお申し出を受け付けておりますので、その旨ご連絡頂くか、病理解剖時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書を病理部まで提出して下さい。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】国立循環器病研究センターにおいて 1990 年 1 月から 2018 年 1 2 月までに脳を含めた病理解剖が終了し、病理診断のついている患者様

【研究課題名】粥腫性脳塞栓症による脳梗塞及び血管性認知症発症機序に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 病理部 部長 植田 初江
営利企業を含む外部共同研究機関はありません。

【研究の目的】動脈硬化症と血管性痴呆との関連の調査

【利用する診療情報】

（検体）大脳組織のガラス標本

（診療情報等）臨床診断名、年齢、性別、入院日、手術日、既往歴、脳病理所見など

【研究期間】倫理委員会承認日より 2021 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

国循倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じて取り扱っています。学会や学術雑誌等で公表する際は、個人が特定できない形で使用いたします。

【

問合せ先】 病理部 部長 植田初江 国立循環器病研究センター 病理部

電話 06-6170-1070（代表）内線（31222）（対応可能時間：平日 9 時～16 時）